

廃棄物対策審議会議事録

会議名	令和7年度第2回流山市廃棄物対策審議会
日時	令和7年7月4日（金） 13時30分～15時00分
場所	クリーンセンター リサイクルプラザ・プラザ館2階 研修室3
出席委員	稲葉委員、高橋委員、羽田野委員、和田委員、濱野委員、鈴木委員、 關委員、木ノ村委員、橋本委員
欠席委員	郡司委員、中村委員、杉村委員
会長	稲葉委員
事務局	伊原環境部長、平野クリーンセンター所長、石田副所長、鈴木副所長 兼森のまちエコセンター係長、上山収集・リサイクル係長、 横井管理計画係長、古谷主査、濱田主事、宮越主事
傍聴人	1名
議題	1) 流山市一般廃棄物処理基本計画見直しについて 2) その他
配付資料	・次第 ・席次表 ・資料1 廃棄物対策審議会委員名簿 ・資料2 流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（答申）
議事要旨	別紙のとおり

## 議事要旨

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会（13時30分）</li> <li>・ 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 会長挨拶</li> <li>2 流山市一般廃棄物処理基本計画見直しについて</li> <li>3 その他</li> <li>4 閉会（15時00分）</li> </ol> </li> </ul>
石田副所長 （司会）	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和7年度「第2回流山市廃棄物対策審議会」を開会いたします。</p> <p>司会進行を務めさせていただきます、クリーンセンター副所長の石田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は傍聴される方がいらっしゃいますので、傍聴にあたっての注意事項を申し上げます。</p> <p>まず、傍聴される方は「流山市審議会等の委員の選任及び会議の公開等に関する指針第10条」に基づき、発言や拍手等はできませんので静穏に傍聴してください。</p> <p>また、撮影や録音等もできませんのでご注意ください。</p> <p>これに従わない場合には退席をお願いすることになりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、稲葉会長から御挨拶をお願いいたします。</p>
稲葉会長	～会長挨拶～
石田副所長	<p>次に、本日の資料について確認させていただきます。</p> <p>～配付資料確認～</p> <p>それではまず、進行を稲葉会長にお渡しする前に、事務局から審議会委員に関する報告をいたします。</p>
事務局	～事務局報告～（資料1 廃棄物対策審議会委員名簿）
石田副所長	それでは、ここからの進行は稲葉会長にお願いします。
稲葉会長	<p>本日の出席委員は9名です。</p> <p>従いまして、「流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第4条第2項の規定に基づき、定足数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題の1「一般廃棄物処理計画の見直しについて」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	～事務局説明～（資料2 流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（答申））
羽田野副会長	答申書の日付は7月25日になると考えてよろしいか。
稲葉会長	そのとおりです。
鈴木委員	一般廃棄物に関する内容は入っているが、災害廃棄物に関することは答申書に入らないのか。
事務局	災害廃棄物処理計画自体の明らかな違いについて、平常時に何かする必要があるのかと本質の違いがあるので、付帯意見として入れるのであれば、「適宜、

	<p>計画を見直して対応できるようにします」等の記載の仕方であれば、意味があるかと思いますが、災害廃棄物処理計画では、何かを推進していくわけではないので、難しいのではと思っております。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画の第5章に入っていて、別冊の詳細のみ概要として記載があります。</p>
稲葉会長	<p>この内容については、大規模災害等を平常から想定して、災害廃棄物処理計画を策定しているが、「計画に沿って災害廃棄物に備えること」のような記載になるかと思う。追加する文面については事務局と相談して検討する。</p>
高橋委員	<p>参考までに、市長に提出するときは素案と一緒に出すのか。</p>
稲葉会長	<p>そのとおりです。</p>
高橋委員	<p>前に戻るが、前回の審議会で提示されていた概要版は、市長に説明するときには必要ないのか。概要版の右下の災害廃棄物処理計画の中の表について、基本計画 P.49 の表があるかと思う。表の項目が想定されている値ということで棟数があると思うが、本文は被害想定とあるので、想定される値というのは理解できるが、概要版だけ見ると「想定」という記載がないので、どういう数字かが分かりづらい。被害数量の前で良いので、「想定」や想定される数字であると書いていただくのが良いかと思う。</p>
事務局	<p>計画中には「被害を想定しています。」と記載があるのですが、概要版には出典等の記載がないので、災害廃棄物処理計画での想定ではなく地域防災計画等、何の数字か出典を記載するなど検討します。</p>
和田委員	<p>環境審議会の方で、脱炭素社会のことで意見された先生がいるが、「脱炭素社会の構築」は使っても良い言葉なのか。国がどういう方向性になるかはわからないが、今までの議論の中で使われなかった言葉を入れる必要もないのではと思う。稲葉会長があえて使っている意味合いを教えてください。</p>
稲葉会長	<p>例えば付帯意見3番で書かれているように、プラスチックごみについては、その焼却処理において二酸化炭素が排出されることに注意が必要だ。一方、焼却熱を利用した発電により、火力発電を代替して石炭燃焼分の二酸化炭素の排出を抑制している可能性もある。いずれにせよ、ごみ処理においても二酸化炭素削減対策は必要なので、何かしら言及が必要だ。答申本文に記した「脱炭素」という言葉は、環境省でも使っており、国際的にも広く使われている。二酸化炭素の排出削減の取組について、まず海外で” decarbonization”、すなわち日本語では「脱炭素」という言葉が用いられ、普及した。本来であれば「脱二酸化炭素」と呼ぶべきかもしれないが、一般市民にも普及させるためにあえて短い「脱炭素」という言葉を用いたのではないかと思う。このような経緯から、違和感を抱かれるのは理解しているが、広く社会に普及している言葉ではあるので、あえて使用している。</p>
和田委員	<p>付帯意見の2番、「DX」は省略言葉だと思うが、今まであまり出なかった言葉が出てきて、一般市民でもわかるのか。答申書として出された経緯や説明が必要かと思う。また、3番の最後が「調査・検討を行うこと」となっているが、目指すは再資源化率を高めることだと思うので、そこまで書いても良いかと思う。</p> <p>最後も「資源化に取り組むこと」とあるが、再利用率を上げるというところまで結び付けられると良いと思う。</p>

稲葉会長	<p>「DX」について、注釈が必要というのがあるが、そうすると他の言葉も注釈が必要な部分が出てきてしまう。この部分については、市長への答申というのもあるので、省略させていただきたい。</p> <p>本編の方でDXの説明があるので本編の方を見ていただくことで答申では省略したい。</p> <p>付帯意見3番について、「調査・検討を行うこと。」で終わってしまうのは、何を指すのかが分かりづらいというのはおっしゃるとおりだと思うので、「プラスチック使用製品廃棄物の回収、再資源化について調査し、再利用率の向上に取り組むこと。」というのはいかがか。</p> <p>5番についてもおっしゃったように、「さらなる有効利用方法を検討し、再利用率の向上に取り組むこと。」というような内容ではどうか。</p>
和田委員	<p>これは市内で再資源化するのか、他のところでやるのか。市内でやることを考えているのかと思って読んでいた。スラグの利用ということなので、その再利用率を上げて、その他のところにも使って市内で再資源化を進めていくのか。</p>
事務局	<p>市内外問わず、使っていただけることを考えています。</p>
稲葉会長	<p>市内にこだわると需要が足りなかったり、無理が生じたりすることもあるので、利用されるのであれば市内外にこだわらなくて良いと思う。</p>
羽田野副会長	<p>3番の表現について、調査・検討を行うのではなく、最終的に再資源化率を高めるというのがあるので逆にしてみてもどうか。処理方法について、調査・検討を行い、再資源化率を高めることとするのはどうか。</p> <p>5番も、スラグの有効利用もある程度はできているので、更なるだけではなく、積極的に絡めたら良いのではと思う。スラグ以外に何かあるのかを含めて検討の余地がたくさんあるのか。審議会で議論して、思いつくその先を付帯意見として答申したいというのが趣旨なので、技術も変われば変わる可能性もあるので、そこを積極的に入れて良いかと思う。</p>
高橋委員	<p>スラグの利用も資源化の方法の一つ。他に技術や方法があるとする、ここであえてスラグの内容はいらぬのではないかと。あえて一つの方法を指定せず、幅広く捉えてもらうために書かなくても良いのではないかと。</p>
事務局	<p>多少、灰も出ますが、別の方法で再資源化しているルートがあるので、全量資源化しています。灰、スラグ、炉下不燃があり、灰・スラグは利用方法がありますが、炉下不燃は今の技術ではどうにもならないものになります。</p> <p>スラグは、行先さえあれば資源化できるものが、需要と供給の兼ね合いで欲しいという人がいない限り、溜め過ぎるとピットが埋まってしまいます。行先を作るということを広く書くとこの文言になります。行先が最終処分場によらずとも、スラグ以外はないので、この表現になってしまいます。</p>
和田委員	<p>地震よりも前は、スラグを民間や一般家庭に配布していたのか。放射線の問題があって、すぐには使えない状況、一般には出せない状況になっているのか。その問題は特に関係なく、スラグも一般家庭で使って大丈夫なのか。</p>
事務局	<p>灰もスラグも、一般家庭に配っていません。放射線量が多いので、路盤材としても使えない時期はありましたが、これまでも全量利用ができたことはありませんでした。本来は利用できていたのに、やむを得ず最終処分していたというのは絶えずあります。</p>

和田委員	ガラは埋立に使っているようだが、それもある意味有効利用ではないかと思うが、どうか。
稲葉会長	海面埋め立てならそういう考えもできなくないと思うが、「埋立」を「有効利用」として考えることはあまりないかと思う。
羽田野副会長	ガラはお金をもらって売っているわけではない。お金を払って埋め立てている市からみたら「有効利用」とは違うのではないか。
稲葉会長	灰の資源化は今後も安定して行われるのか。
事務局	令和2年度から全量使用してもらえる事業所があり、5年間何も問題なく、全量資源化ができていますので、今のところ不安な部分はありません。
關委員	再資源化に向けられるものを含めて、括弧書きで「処理後再生原料（スラグ等）を含め」などの書きの方が良いのでは。 スラグばかり書くのではなくそれ以外もまとめたら良いかと思う。
羽田野副会長	災害廃棄物に関して、答申書に新しい計画を添えてという話があったが、災害廃棄物処理計画も同様に出すのか。そうなのであれば1ページ目の「別添」のところに災害廃棄物処理計画も記載したら良いのではないか。災害廃棄物処理計画は起きたときの備えであって、一般廃棄物処理基本計画との違いはある。そこに対して審議会としての付帯意見はできないと思う。
稲葉会長	答申書の P.1 に「災害廃棄物処理計画（素案）」というように併記で良いかと思う。
羽田野副会長	答申書は委員が行ってきたことなど、審議会として意見を大きく5つ記載している。冒頭にあった、和田委員の DX の話は、言葉の問題もあるが、審議会の中でブレインストーミングを実施したときにツールを使ったらどうかという話があった。DX を取ってしまうとごみの発生抑制は分別の徹底など人の力でやることを羅列している形になる。IT 化のことも議論したということを残した方が良いかと思う。
橋本委員	全体的に見て、良いかと思う。
濱野委員	最後に付け加えられた災害廃棄物処理計画のことは非常に良い意見だと思う。
木ノ村委員	良いかと思う。ただ、最終的にスラグと灰とガラがどのくらい出てくるかのイメージが湧かず、ピンときてはいない。
事務局	ざっくり、流山市の場合は燃やした量の10%が灰、ガラ、スラグとして残ります。その内訳は、4%が灰、4%がガラ、2%がスラグになります。
稲葉会長	初めて知ったので、貴重なご意見をありがとうございます。
事務局	～資料配付～（資料2 流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて（答申）修正）
稲葉会長	一部修正した答申案で答申しようかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。
委員一同	異議なし。
平野所長	皆様、ご審議ありがとうございました。  答申につきましては、いただいたご意見を踏まえ内容を修正した上で、7月25日に、稲葉会長から市長へ答申書をお渡しいただく予定となっておりますのでよろしくお願い申し上げます。

	<p>次回の審議会につきましては、12月中旬から1月下旬までの間での開催を予定しており、内容はパブリックコメントに対する市の意見等についてのご説明と一般廃棄物処理基本計画の最終案をご提示する予定です。</p> <p>また、委員の皆様は来年の2月18日までとなっております。</p> <p>次期委員の選定に関する今後の予定として、公募委員の募集は、9月頃を予定しております。公募委員の皆様におかれましては、ぜひ積極的にご応募いただければと思います。</p> <p>詳細は広報ながれやまやホームページにてご案内させていただく予定です。</p> <p>公募委員以外の委員の皆様につきましては、年内に個別にご連絡やご相談をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>稲葉会長、羽田野副会長をはじめ、委員の皆様におかれましては、ご多用のところ審議会にご出席いただき、一般廃棄物処理基本計画について、様々な貴重なご意見やご提言を賜りましたことに深く感謝申し上げます。</p> <p>皆様には、引き続き、本市の廃棄物行政にご協力をいただきますようお願いいたします。</p>
稲葉会長	<p>本日の議事は以上となりますが、委員の皆様から、何かございますか。</p> <p>ないようでしたら、本日の議事は終了とさせていただきます、進行を事務局にお返しします。</p>
石田副所長	<p>皆様、お疲れ様でございました。</p> <p>以上をもちまして、令和7年度「第2回流山市廃棄物対策審議会」を閉会いたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>